

地域医療への理解を深め、医師として地域に定着を図るための地域医療教育として、1年次に「大学基礎論」、2～6年次には、東北6県における体験学習・臨床実習を組み込んでいる。

1. 医学部1年次 前期「大学基礎論」における地域医療教育

○「大学基礎論」は、医学部においてこれから学ぶ全ての科目に関連し、医師として求められる資質や基礎的な素養を身につけるための科目である。この科目において、地域社会の歴史、文化、生活感を理解し、体験する。

○具体的内容としては、各県当局による県の特色等の紹介、学生による各県訪問である。

○詳細は、以下のとおり

(1) 各県の講義及び講義終了後の修学資金制度等に関する面談・説明会

講義日時	県	講義時間	講義後の面談	講義後の説明会	備考
4月19日(火) 13:40～14:50	青森県	13:40～14:10	15:00～15:30		B方式及び一般枠
	岩手県	14:10～14:40		15:00～15:30	岩手県の地域医療に興味のある者
4月26日(火) 13:40～14:50	宮城県	13:40～14:10		15:00～15:30	A方式及び一般枠
	秋田県	14:10～14:40		15:00～15:30	B方式
5月10日(火) 13:40～14:50	山形県	13:40～14:10		15:00～15:30	B方式
	福島県	14:10～14:40		15:00～15:30	B方式

※ 14:40～14:50:質疑応答

(2) 学生による東北6県の文化史跡訪問

- ・日程:7月2日(土)、9日(土)、16日(土)のうち、任意の1日
- ・訪問県の決定:A・B方式入学者は修学資金貸与を受ける(予定の)県、一般枠入学者は調査票に基づき調整
- ・グループ割:各県ごと、入学枠に関係なく、1グループ7名程度で割り振り

県	グループ数	合計人数
青森県	2	10
岩手県	2	13
宮城県	6	38
秋田県	2	13
山形県	2	14
福島県	2	12

2. 東北6県における2～6年次の体験学習・臨床実習(必修科目)

「大学基礎論」終了後、修学資金貸与実績(A・B方式)及び希望(一般枠)に基づき、体験学習・臨床実習先を毎年度2月末までに決定する。

- 2年前期「僻地・被災地医療体験学習Ⅰ」(0.5単位)
- 2年後期「介護・在宅医療体験学習」(1単位)
- 3年前期「僻地・被災地医療体験学習Ⅱ」(0.5単位)
- 4年後期～6年前期「地域総合診療実習」(2単位)、「地域包括医療実習」(4単位)